

新型コロナウイルス感染症による富士登山への影響調査の実施について（案）

1 経緯

- ・富士山は、新型コロナの影響により、令和2年度は開山しなかった。
- ・令和3年度は、新しい登山マナーの周知、検温・体調チェック、山小屋での感染防止策への助成などの対策を講じた上で開山したが登山者数は過去最低となり、この2年間で地元観光事業者や山小屋へ多大な経済的な負の影響が及ぼされた。
- ・上記を踏まえて、今年度の富士山世界文化遺産学術委員会において、新型コロナウイルス感染症による富士登山への影響を調査するべきとの意見集約がなされた。

2 調査概要

- ・今後の富士登山に係る政策・施策を検討する際の基礎資料とするため、閉山や登山者数の減少が富士登山に与えた影響について「新型コロナウイルス感染症による富士登山への影響調査報告書」として取りまとめる（当該報告書骨子案及び調査費用の予算措置について令和4年3月に富士山世界文化遺産協議会に諮ったうえで、令和4年度に実施）。
- ・調査結果を踏まえ、コロナが与えた影響の考察等を行う。

調査報告書骨子案（詳細は「資料4-2」参照）

- ・調査の趣旨・目的
- ・これまでの来訪者管理についての議論・方針
- ・コロナ禍での富士山を巡る動向
- ・コロナによる影響
- ・コロナと来訪者管理戦略

3 スケジュール

R3	R4			
1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
調査骨子・予算 ○学術委員会 ○作業部会 ○協議会	← 影響調査 → ○学術小委員会 (1～2回)		調査結果報告 ○学術委員会 ○作業部会	○協議会
	← コロナ対策（準備・実施） →			